

賑岡地区社会福祉協議会広報誌



第11号  
平成29年8月1日  
発行  
賑岡地区社会福祉協議会  
会長 箭子 熙代司  
(大月市社協内)  
電話 23-2001

平成29年度より新会長が就任いたしました

地域福祉の更なる充実を

地域住民の誰もが幸せに暮らせる

「ささえあい」の地域づくりを目指します

賑岡地区社会福祉協議会

会長 箭子 熙代司



平成二十九年度より、前会長の林博之様より会長の重責を引き継ぐことになりました。

賑岡地区社会福祉協議会は、民生委員のみならず、各区長・自治会長のみならず、そして「ふれあいいいきサロン」などの地域活動に関わるボランティアのみならず、多くの組織とその支援によって成り立っている組織で、大月市内においては先駆的な地区社会福祉協議会です。

これもひとえに地域のみならずや歴代役員さんのご努力の賜物と頭が下がります。

また、当地区社会福祉協議会の活動も「あんしんカード」への登録、地域見守りマップの取組推進

賑岡地区社協役員

(会長) 箭子熙代司 / (顧問) 林博之 / (副会長) 池川元、小俣芳江、飯島貞夫、田中茂 / (常任理事) 加藤進、吉岡幸弘 / (理事) 山口肇、渡邊公明、山田正春、西室敏雄、山口孝一、小俣昌宏、下澤直幸、井上明夫、知見茂、小笠原康利、山口和義 / (監事) 藤本政司、矢ノ倉清 / (評議員) 川野和枝、平井秀治、渡邊久子、武藤啓喜、井上里江、矢頭和子、井上喜和子、中野友子、矢頭照子、鈴木龍子、池川直伯、逸村仁美、佐藤佳伸 ※順不同

ならびに支援、「ふれあいいいきサロン」支援、研修会など、多くの活動実績を積み重ねています。私たちは、このような大切な活動の成果を、地域にさらに浸透させ守り育ててゆく事の必要性を強く感じています。

また、さらに今後、わが賑岡地区(地域)に根ざした、そこに生き暮らす人の安穏な生活のための「地域の課題の気づき」等があればそれを積極的に発掘し、地区社会福祉協議会活動に取り入れることが出来ると良いと感じています。

地区社協って？

住民自身が、自分たちで生活する地域の困りごと(福祉課題、生活課題)を主体的にとらえ、課題解決に向けて、住民一人ひとりが自発的に地域ぐるみで取り組む活動組織です。

地域には、区会や自治会、民生委員児童委員、公民館、防災会、消防団、老人クラブ、育成会、ボランティア組織など、色々な目的をもった組織があります。地区社協活動の推進は、このような地域に既存する組織を基盤として、お互いが協力し合う中で、地域ぐるみで進められます。

賑岡地区社協では、

住民相互の「ささえあい」や

「たすけあい」を推進しています!

今日、地域住民が地域課題を「自分たちの問題」と捉えて地域づくりを行なっていくことが求められています。特に、「ささえあい」や「たすけあい」が必要不可欠であることは言うまでもありません。賑岡町においては、充分なつながりがある地域がほとんどではありませんが、これから先も、そのつながりを維持したり強固にしていかなければなりません。賑岡地区社協では、そんな何気ない地域のつながりを推進すべく、様々な事業を実施しています。

「ささえあい・たすけあい」啓発ポスター

「ささえあい・たすけあい」啓発のため、のポスターを作成し、現在は各区の公民館・集会場などに掲示していただいております。ポスター掲示にご協力いただける方、募集しています。よろしくお願ひします!



「ご近所たすけあい」メッセージボード

昨年の9月に、デイサービス福祉工房さんの秋祭りにお邪魔し、ご近所たすけあいメッセージボードコーナーを設置、たくさんの方の来場者の皆さんに、たすけあいやささえあいについて、自分自身はどう思っているのか、メッセージカードを書いていただきました。あまりにもたくさんメッセーシジのため、全部をこの紙面上で掲載することは出来ませんが、一部をご紹介します。



「二人暮らしのお年寄りの話し相手になる」、「あいさつだけではなくちよつとしたお話をしようと思えます」、「高齢者の畑仕事のお手伝いをします」、「笑顔であいさつ」、「道を歩いていて大変そうだったら車に乗せてあげたい」、「みんなで仲良し」、「地域で声掛け」、...などなど...

心温かいメッセージですね! ありがとうございます! 今年度も、施設のイベントなどで実施予定です。よろしくお願ひします!

地域見守りマップ

始めませんか??

【見守りマップとは】地域の「気になる人(支援が必要と思われる人)」とその人への住民の関わりを地図に落とし込み、地域住民の繋がりを把握して、その地域の福祉課題等を見出すものです。

【なぜ必要なの?】地域福祉を進めるには、「公助」に加えて「共助」と「自助」が機能しなければ効果的に進みません。公助のみに頼ると制度やサービスの隙間が生まれます。隙間に対応できるのは、「住民同士」の支え合い(共助)です。【見守りマップから調べること】

- ・ 助けあいのキーパーソン(世話焼きさんなど)はいる?
- ・ 要支援者は、どのような自助努力をしている?
- ・ 住民の皆さんが寄り集まる場所はどこですか?(畑、○○さんのお宅...など)
- ・ 地域のどのような生活課題がありますか?(高齢化、買い物、交通の便など)

これらを整理して、住民みんなが要支援者への新たな支援方法を考えたり、地域の課題を抽出したりします。賑岡担当までご相談を!!!



▶地域見守りマップに取り組んでいる様子(ゆりヶ丘自治会、平成28年)

**平成28年度 賑岡地区社会福祉協議会 事業報告・決算報告**

平成28年	5月7日	常任理事会・第1回役員会
	6月中旬	いきいきサロンへの助成金
	6月18日	賑岡地区ふれあいいきいきサロン連絡会
	7月30日	第1回賑岡地区社協研修会(地域住民の防災について)
	8月1日	広報誌「にぎおかの住民ふくし」第9号発行
	9月3日	常任理事会・第2回役員会
	9月上旬	敬老祝い金配布
	9月10日	ご近所たすけあいメッセージボード(福祉工房秋祭り)
	9月28日	大月東小学校、大月・真木地区社協との協働事業打ち合わせ
	10月6日	地区社協等・小学校6年生による赤い羽根共同募金街頭募金
	10月20日	大月東小学校、大月・真木地区社協との協働作業(福祉活動啓発等を目的とした小学生メッセージ入れプラントーづくり)
	10月16日	賑岡町民運動会参加協力
	10月22日	大つきふれあいフェスティバル
11月中旬～	共同募金事業所訪問	
11月19日	大月市地域福祉推進大会	
11月29日	長野県駒ヶ根市社会福祉協議会視察研修	
12月3~4日	大月市ふれあい福祉バザーへ協力	
12月10日	常任理事会・第3回役員会	
平成29年	2月4日	大月市社会福祉協議会賑岡地区住民福祉懇談会
	3月1日	広報誌「にぎおかの住民ふくし」第10号発行
その他の事業		【買い物行楽事業】9月29日、10月27日、11月17日、12月15日、1月25日、2月16日、3月16日(計7回実施) 【ふれあいいきいきサロン】賑岡地区内6か所において概ね月に1~2回実施

**社協会費について**

社会福祉協議会では、地域住民の皆様が社協活動に参加する意思の表明として会員制度による運営を行なっています。そんな地域住民主体の活動の実現と円滑な事業、サービス推進のための自己資金確保のために、住民の皆様にご協力として、会費を納入して頂いています。

賑岡地区社協においては、住民の皆様より650円の会費を頂いています。平成28年度は、650円のうち500円を市社協の会費として納付し、市社協の運営費や

地域福祉に関する事業の財源として、有効に使って頂きました。また、150円を賑岡地区社協が行なう敬老祝い金・サロンの推進などの事業費や、会議費等事務費に有効に使わせて頂きました。毎年、多くの地域住民のご理解とご支援をいただいています。皆様のご協力で深く感謝申し上げます。また、平成29年度も、ご協力をお願い致します。

※これらの会費は、区長さんや自治会長さん方にご協力を頂き、納入をお願いしています。なお、区費等から納入して頂いている区や自治会等が大半です。

**平成29年度 賑岡地区社会福祉協議会は、大月市社会福祉協議会および各種社会福祉団体とともに地域福祉(すべての住民による福祉活動)を推進します。**

- 具体的な取り組み計画**
1. 高齢者・障がい者等のための「あんしんカード」事業の推進と定着
  2. 地域見守りマップ(ささえあいマップ)の推進(全地区を目標)
  3. 地域における孤立や孤独死への対応や、認知症高齢者、障がい者などの要支援者への見守り活動に関する取り組みの検討(あんしんカード事業との連携)
  4. 広報活動(広報誌、啓発用ポスター、ご近所たすけあいメッセージボード)
  5. ふれあいいきいきサロンへの助成と支援
  6. 買い物弱者への支援(概ね月一回を予定)
  7. 高齢者への敬老祝い金支給
  8. 小学校や近隣地区社協との協働
  9. ボランティア活動の推進
  10. 住民福祉懇談会の実施(市社協)
  11. 各種福祉活動への参加と協力

収入の部		支出の部	
項目	28年度決算額	項目	28年度決算額
社協会費(市社協、賑岡地区社協)	677,950	市社会福祉協議会費	521,500
市社協補助金	100,000	事務費(会議費並びに消耗品等)	20,573
赤い羽根共同募金(世帯募金、企業)	717,464	事業費(あんしんカード、研修会、広報誌、敬老祝等)	191,415
ふれあいバザー配分金	21,150	赤い羽根共同募金(山梨県共同募金会へ)	727,464
共同募金配分金	200,000	助成金(いきいきサロン)	30,000
その他の収入	18,152	共同募金配分金	200,000
前年度繰越金	338,325	その他の支出	55,000
<b>収入合計</b>	<b>2,073,041</b>	<b>支出合計</b>	<b>1,745,952</b>

※収入支出差引差額の327,089円は平成29年度へ繰越



買い物行楽事業



小学校等との交流活動(プラントーづくり)

**第1回賑岡地区社協研修会を開催しました**

7月15日(土)に、大月市総合福祉センター6階において、住民主体の地域福祉活動を学び考える機会として標記研修会を開催、60名以上の区役員、民生委員児童委員、公民館関係、ボランティア関係、老人クラブ関係、消防団関係の方々3名の地元選出の市議会議員のご参加をいただきました。

最初に大月社会福祉協議会地域福祉担当主任の山崎宏さんから「地域で安心して暮らすために地域の支えあい助けあいを広げよう」と題し、住民のささえあい活動の今後のあり方について、講演していただきました。

山崎さんのお話が続いて、今年の2月4日に実施した賑岡地区住民福祉懇談会の振り返りと活動の具体化についてのグループ討議を行ないました。この討議の内容は、今年度中に大月市社協で策定予定の地域福祉活動計画にも大変有意義なものとなるとともに、賑岡地区社協の具体的な活動計画に対しても非常に重要な資料となります。



参加された市議会議員の皆さんも、「住民が地域の課題を我が事として捉えた上での、住民による主体的な活動が必要」との旨の感想をお話しされていました。

**退任あいさつ**

二年間の任期中、事務局をはじめ、多くの皆様のお力を借りながら全うすることができました。この間、賑岡地区社会福祉協議会の活動が益々活発になって、多くの地域の皆様が参加してくださっていることを、身を持って感じました。それは、研修会や住民福祉懇談会などの機会に、大勢の皆様に参加していただき、特に若い人達が多いのほかに大勢参加してくださったことです。

この地域の力を、次の会長にも引き継いでいただきたいと思います。あつという間の二年間でしたが、皆様の大きなご協力で心より感謝しております。本当にありがとうございました。



平成27・28年度 会長 林 博之